

温泉

学校プールの男女更衣室横にそれぞれ温泉が引かれている。温泉は近くのホテルに無償で提供していただいている。他の場所より高い位置にあるのでその分気温、水温が低い。子どもたちが、水泳学習の後に体を温めるために使っている。（通常は水泳学習のある期間だけ子どもたちが使う。それ以外には使用していない。）



高千穂小学校温泉設置の歴史

- 1 昭和45年9月に、近くのホテルが、温泉給湯事業として、道路沿いにお湯のパイプを敷設しなければならなくなった。そのパイプが、旧高千穂小学校跡地を通ることになり、パイプを設置させていただく代わりに、お湯を無償で提供したいという申し出が学校にあった。PTAとしても有り難いことだと、温泉を設置することになった。当時は、昼の掃除にも、この温泉のお湯でぞうきんがけなどをしたようである。また、汗をかいたり体を汚した時にも、温泉を利用していたということであった。平成15年9月には校舎の新築移転を行った。平成18年3月に新プールが完成したが、更衣室の隣に温泉施設「わらべ湯」も移転新築した。旧校舎のいきさつもあり、ホテル側のご厚意で、新校舎になっても、温泉を無償で提供していただけることになった。旧プールでは温泉施設が離れた場所にあったが、新プールでは、更衣室の隣に温泉があり、大変便利になっている。
- 2 昭和45年に本格的な温泉ができたが、実は、それよりも以前に、温泉が学校にはあったそうである。昭和14年に夏休みを返上して、尋常小学校高等科の生徒を中心に、孟宗竹の節をくりぬき、それをパイプのように作り、つないで温泉を学校に引き入れていた。この温泉は、竹のパイプを使った簡易な施設だったため、いつまで使われたか、その記録は残っていない。